

2025年度
秋の特別展

いい日旅立ち

～鉄道マンガ&イラスト展～

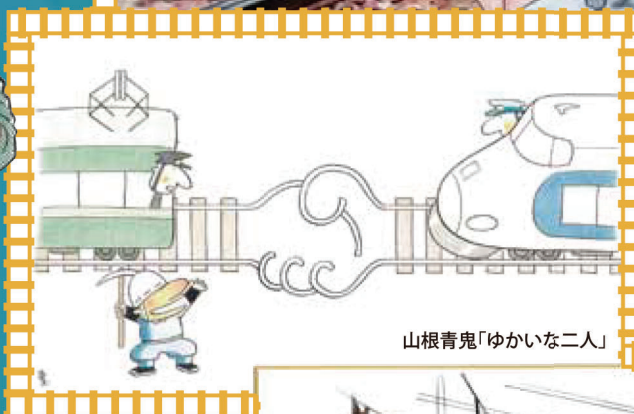
2025年は、SL(蒸気機関車)が国鉄で最後の運行を終えてから50周年となります。また、山陽新幹線が博多までの全線開通したのも同じ1975年でした。日本の鉄道事業にとって節目となるこの年に合わせ、鉄道マンガとイラストの展示を開催します。どこか懐かしさを感じる場面の数々に、また新たな鉄道の楽しみを発見していただければと思います。



はやせ淳「新駅弁ひとり旅」/双葉社



はしもとみつお「鉄のほそ道」
/KADOKAWA



山根青鬼「ゆかいな二人」



yascorn
「ドクターイエローと駅弁と私」



下條よしあき「寝台特急カシオペア」

●同時期開催

「鉄道ジオラマ展示&
走行会&ワークショップ」

9/13(土)～15(月・祝) 10:00～17:00

※夜間走行9/13(土)・14(日)18:00～19:00

森下文化センター2階多目的ホールほか

くわしくは森下文化センターHPへ

2025年

9月10日 水 ～ 10月13日 月・祝

時間・9:00～21:00

※10月6日(月)休館日

会場・森下文化センター 1階展示ロビー

東京都江東区森下3-12-17 Tel. 03-5600-8666 <https://www.kcf.or.jp/>

主催:公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 江東区森下文化センター

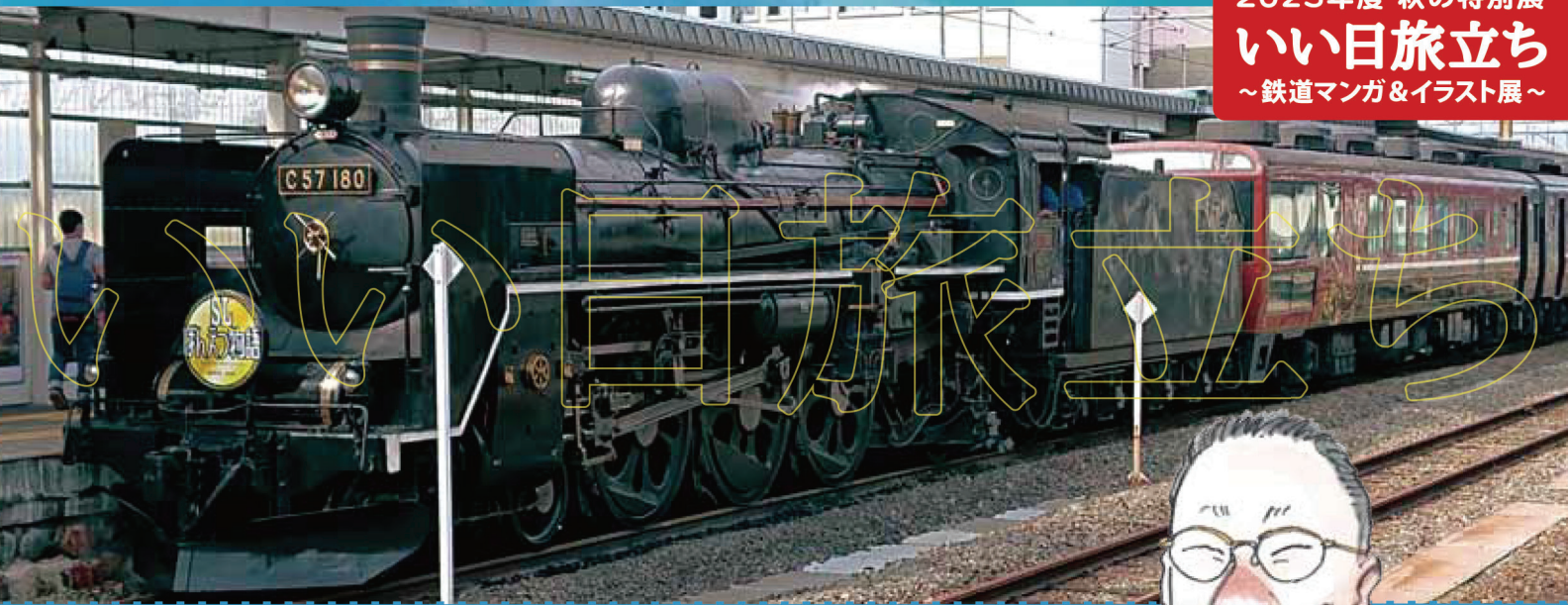
協力:下條よしあき、KADOKAWA、双葉社

入場
無料



公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
心にうるおい、地域にきわみ。
Koto City Culture and Community Foundation

2025年度 秋の特別展
いい日旅立ち
～鉄道マンガ&イラスト展～



2025年度 秋の特別展 関連トークイベント 「旅行マンガ家、鉄道を語る」

旅行マンガや鉄道イラストを描く先生方による鉄道トークをお楽しみください。取材先で出会った風景や車両、旅の魅力を人気鉄道雑誌ライターの岩成政和さんがナビゲートします。

2025年**9月14日(日)** 14:00～15:30

森下文化センター 4階AV・ホール

全席自由 無料 15歳以上 要申込

出演：**はやせ淳、下條よしあき**

ナビゲーター：**岩成政和**



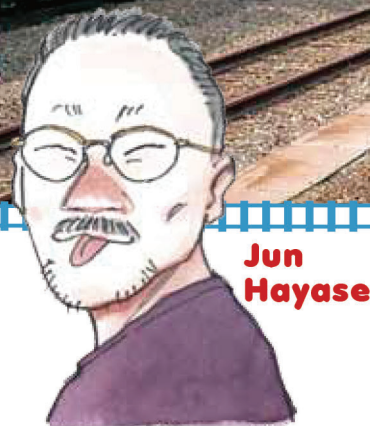
岩成政和 (鉄道史学会会員)

1963年生まれ。鉄道雑誌各誌に主に鉄道史やローカル線の紀行文を書いているほか、NHK、民放各局で鉄道の解説を行うことも多い。食堂車や駅弁が大好きで、列車に乗って喰って寝ていれば幸せな人。

Masakazu Iwanari

はやせ淳(マンガ家)

東京都町田市生まれ。横浜育ち。
代表作に『駅弁ひとり旅』シリーズ、『シャッター』
『東京爆弾』『外へ出ようヨ!』『メメント・モリ』(双葉社)、
『弁護士TASUKE』(芳文社)など著書多数。



下條よしあき(マンガ家・編集者)

山根青鬼一門会メンバー(紺鉄鬼)。
代表作『マイコン刑事』『雨の朝サブは…』。
趣味を生かしたゴルフや釣りを題材にした作品も
手掛ける。週刊漫画サンデー漫画賞受賞。



Yoshiaki Shimojo

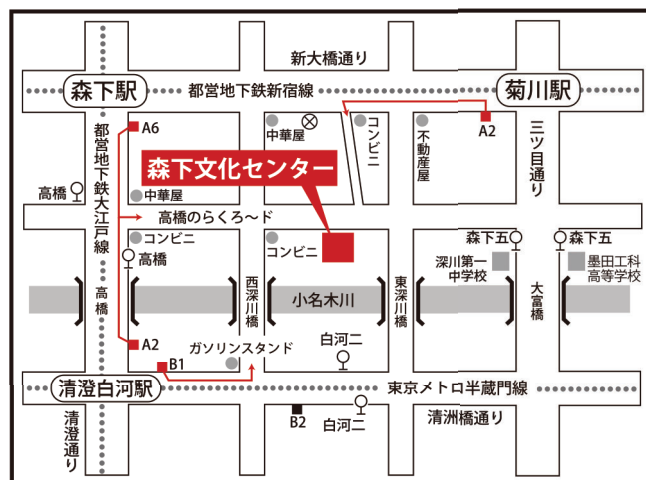
申込：**Web、電話、窓口**

(8/10(日)9:00～先着順)

Tel: 03-5600-8666

Web: <https://www.kcf.or.jp/morishita/>

※Webからのお申込みには事前の登録が必要です。



江東区森下文化センター (田河水泡・のらくろ館)

〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17

電話:03-5600-8666 休館日 第1・3月曜日(ただし祝日の場合は開館)

<https://www.kcf.or.jp/>

電車:都営地下鉄新宿線、大江戸線「森下」駅、新宿線「菊川」駅、
東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄大江戸線「清澄白河」駅 各徒歩8分
都バス:門33系統「亀戸駅前」⇄「豊海水産埠頭」「高橋」下車
業10系統「とうきょうスカイツリー駅前」⇄「新橋」「森下五丁目」下車 各徒歩5分